



AMUSE

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2021年2月12日

上場会社名 株式会社アミューズ 上場取引所 東
 コード番号 4301 URL https://www.amuse.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 中西 正樹
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 柏木 伸裕 TEL 03-5457-3302
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	30,550	△31.2	4,027	△32.1	3,779	△37.0	1,939	△45.6
2020年3月期第3四半期	44,406	16.9	5,935	127.6	5,994	113.8	3,564	14.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,861百万円(△28.2%) 2020年3月期第3四半期 3,987百万円(31.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	111.52	-
2020年3月期第3四半期	205.72	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	47,901	36,687	71.2
2020年3月期	52,074	34,057	60.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 34,115百万円 2020年3月期 31,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	17.50	-	17.50	35.00
2021年3月期	-	0.00	-	-	-
2021年3月期(予想)	-	-	-	35.00	35.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,600	△32.7	3,000	△41.8	2,680	△48.1	1,150	△61.8	66.13

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）Amusequest Tokyo Tower有限責任事業組合

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	18,623,520株	2020年3月期	18,623,520株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,204,284株	2020年3月期	1,268,337株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	17,388,156株	2020年3月期3Q	17,328,468株

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式（2021年3月期3Q298,370株、2020年3月期362,720株）が含まれております。

また、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2021年3月期3Q329,640株、2020年3月期3Q300,746株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はT D n e t 及び当社ウェブサイト同日公開しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

〔当第3四半期連結累計期間の経営成績〕

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	増減	増減率 (%)
営業収入	44,406	30,550	△13,856	△31.2
営業利益	5,935	4,027	△1,907	△32.1
経常利益	5,994	3,779	△2,215	△37.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,564	1,939	△1,625	△45.6

〔経営成績の分析〕

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による経済活動の停滞、個人消費の低迷などにより、厳しい状況が続いております。緊急事態宣言の解除後は、外出自粛の緩和などを背景に、一時的に景気を持ち直しの動きが見られたものの、年末からは再び全国各地で感染者が増加するなど、景気の先行きは依然として不透明な状況であり、感染症による影響や金融資本市場の変動などによる影響を引き続き注視する必要があります。

当社グループの経営成績は営業収入305億5千万円（前年同四半期比31.2%減）、営業利益40億2千7百万円（前年同四半期比32.1%減）、経常利益37億7千9百万円（前年同四半期比37.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益19億3千9百万円（前年同四半期比45.6%減）となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大と4月より全国に緊急事態宣言が発令されたことを受け、ライブイベントや舞台公演等の開催を自粛、それに伴いグッズ等の販売も減少したことにより、前年同四半期に比べ、イベント収入や商品売上が大幅に減少いたしました。また、パッケージ販売やコマーシャル収入などは好調だったものの、出演収入に関しても大幅に減少したことなどにより減収減益となりました。

<営業収入>

- ・ イベント収入（大型コンサートツアー）が大幅に減少
 - ・ 商品売上収入（コンサート関連グッズ）が大幅に減少
 - ・ 出演収入が大幅に減少
- 上記要因などにより減収となりました。

<営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益>

減収要因により減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

(営業収入)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	増減	増減率 (%)
イベント関連事業	32,983	13,035	△19,947	△60.5
音楽・映像事業	7,441	14,001	6,560	88.2
出演・CM事業	3,981	3,513	△468	△11.8
合計	44,406	30,550	△13,856	△31.2

(セグメント利益)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	増減	増減率 (%)
イベント関連事業	3,410	329	△3,080	△90.3
音楽・映像事業	1,760	2,838	1,077	61.2
出演・CM事業	764	860	95	12.5
調整額	—	—	—	—
合計	5,935	4,027	△1,907	△32.1

〔イベント関連事業〕

営業収入130億3千5百万円（前年同四半期比60.5%減）、セグメント利益3億2千9百万円（前年同四半期比90.3%減）となり、減収減益となりました。

[主な事業]

- ・ イベント収入：＜コンサート＞
サザンオールスターズ、福山雅治、星野源、ポルノグラフィティ、ONE OK ROCK、Perfume、BABYMETAL、DEAN FUJIOKAの配信ライブ
flumpoolのコンサートツアー、エレファントカシマシのコンサート
＜舞台・公演＞
ミュージカル「フラッシュダンス」
Act Against Anything VOL. 1「THE VARIETY 27」
- ・ 商品売上収入：コンサートグッズ、佐藤健のアニバーサリーブック、神木隆之介のアニバーサリーブック
- ・ ファンクラブ収入：サザンオールスターズ、福山雅治、星野源、Perfume、BABYMETALなど

<営業収入>

- ・ イベント収入の減少
（前年同四半期はサザンオールスターズ、SEKAI NO OWARIのコンサートツアーなど）
- ・ 商品売上収入の減少
（前年同四半期よりイベント収入減少に伴い関連グッズが減少）
上記要因などにより減収となりました。

<セグメント利益>

減収要因により減益となりました。

〔音楽・映像事業〕

営業収入140億1百万円（前年同四半期比88.2%増）、セグメント利益28億3千8百万円（前年同四半期比61.2%増）となり、増収増益となりました。

[主な事業]

- ・ 印税収入（新譜・旧譜）：サザンオールスターズ、福山雅治、星野源、BEGIN、ポルノグラフィティ、FLOW、ONE OK ROCK、Perfume、BABYMETALなど
- ・ レーベル収入：福山雅治のアルバムCD、ONE OK ROCKのライブBD、
flumpoolのアルバムCD、BABYMETALのアルバムCD・ライブBD、
THE ORAL CIGARETTESのアルバムCDなど
- ・ 番組制作収入：単発番組の制作受託など
- ・ 映像製作収入：佐藤健主演映画「ひとよ」劇場配給分配収入、イベント興行の中継及び上映収入
- ・ 映像作品販売収入：ドラマ「恋はつづくよどこまでも」、映画「マチネの終わりに」などのDVD販売収入

<営業収入>

- ・ レーベル収入（アルバムCD、シングルCD、ライブBD・DVD）が増加
- ・ 株式会社ライブ・ビューイング・ジャパンの株式を追加取得し、前第3四半期連結会計期間末より同社を連結の範囲に含めたことにより、イベント興行の中継及び上映収入が増加
- ・ 映像作品販売収入（映像パッケージ）が増加
上記要因などにより増収となりました。

<セグメント利益>

増収要因により増益となりました。

[出演・CM事業]

営業収入35億1千3百万円（前年同四半期比11.8%減）、セグメント利益8億6千万円（前年同四半期比12.5%増）となり、減収増益となりました。

[主な事業]

- ・ 出演収入・CM収入：福山雅治、大泉洋、安田顕、星野源、仲里依紗、吉高由里子、ホラン千秋、佐藤健、神木隆之介、賀来賢人、吉沢亮、三吉彩花、清原果耶など

<営業収入>

出演収入の減少により減収となりました。

<セグメント利益>

コマース収入の増加により増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(連結財政状態)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)	増減
総資産 (百万円)	52,074	47,901	△4,173
純資産 (百万円)	34,057	36,687	2,630
自己資本比率 (%)	60.6	71.2	10.6
1株当たり純資産 (円)	1,817.62	1,958.50	140.88

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は479億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億7千3百万円減少いたしました。主な減少要因は、投資その他の資産「投資有価証券」の増加はありましたが、流動資産「現金及び預金」及び「受取手形及び営業未収入金」の減少によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は112億1千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ68億3百万円減少いたしました。主な減少要因は、流動負債「営業未払金」の減少によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は366億8千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億3千万円増加いたしました。主な増加要因は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上及び「その他有価証券評価差額金」の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は71.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期の業績は概ね予定通り推移しており、2020年11月13日の「2021年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,867	28,025
受取手形及び営業未収入金	8,440	5,573
商品及び製品	1,801	1,608
仕掛品	1,890	1,238
原材料及び貯蔵品	182	203
その他	2,180	2,144
貸倒引当金	△528	△113
流動資産合計	43,834	38,679
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,530	1,448
土地	902	977
その他（純額）	346	232
有形固定資産合計	2,778	2,658
無形固定資産		
のれん	132	111
その他	436	482
無形固定資産合計	569	594
投資その他の資産		
投資有価証券	2,760	4,522
その他	2,148	1,621
貸倒引当金	△16	△174
投資その他の資産合計	4,892	5,968
固定資産合計	8,240	9,221
資産合計	52,074	47,901

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	12,771	5,918
未払法人税等	323	546
役員賞与引当金	38	—
従業員株式給付引当金	1	0
返品調整引当金	1	0
ポイント引当金	29	29
その他	3,440	3,234
流動負債合計	16,606	9,729
固定負債		
長期借入金	—	100
役員株式給付引当金	91	65
退職給付に係る負債	1,257	1,286
その他	62	32
固定負債合計	1,411	1,484
負債合計	18,017	11,213
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587	1,587
資本剰余金	2,249	2,249
利益剰余金	28,850	30,479
自己株式	△1,401	△1,268
株主資本合計	31,286	33,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	300	1,137
為替換算調整勘定	△89	△114
退職給付に係る調整累計額	47	44
その他の包括利益累計額合計	258	1,067
非支配株主持分	2,512	2,571
純資産合計	34,057	36,687
負債純資産合計	52,074	47,901

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業収入	44,406	30,550
営業原価	34,282	22,391
営業総利益	10,124	8,158
返品調整引当金戻入額	13	0
差引営業総利益	10,137	8,159
販売費及び一般管理費	4,201	4,131
営業利益	5,935	4,027
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	56	5
受取手数料	9	2
補助金収入	—	45
その他	27	17
営業外収益合計	95	74
営業外費用		
為替差損	19	7
事業組合投資損失	4	—
固定資産除却損	2	—
持分法による投資損失	3	297
その他	6	18
営業外費用合計	36	323
経常利益	5,994	3,779
特別利益		
固定資産売却益	—	15
投資有価証券売却益	38	4
関係会社株式売却益	50	—
段階取得に係る差益	62	—
特別利益合計	151	19
特別損失		
投資有価証券評価損	0	7
関係会社株式評価損	—	6
関係会社株式売却損	—	107
契約解約損	—	65
減損損失	102	—
公演中止損失	—	279
特別損失合計	103	465
税金等調整前四半期純利益	6,042	3,333
法人税、住民税及び事業税	1,597	1,028
法人税等調整額	392	251
法人税等合計	1,990	1,280
四半期純利益	4,052	2,053
非支配株主に帰属する四半期純利益	487	114
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,564	1,939

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	4,052	2,053
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	836
為替換算調整勘定	△33	△25
退職給付に係る調整額	—	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△64	808
四半期包括利益	3,987	2,861
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,500	2,747
非支配株主に係る四半期包括利益	487	114

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額(注)	四半期連結損益 計算書計上額
	イベント関連事業	音楽・映像事業	出演・CM事業	計		
営業収入						
外部顧客への 営業収入	32,983	7,441	3,981	44,406	—	44,406
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	15	74	—	90	△90	—
計	32,999	7,515	3,981	44,497	△90	44,406
セグメント利益 又は損失(△)	3,410	1,760	764	5,935	—	5,935

(注) 報告セグメントに帰属しない全社費用の金額は、各報告セグメントの金額に按分しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産の減損損失に関する情報)

当第3四半期連結会計期間において、「イベント関連事業」に属する株式会社FRIENDS及び株式会社COMITASののれんについて減損損失を計上しております。取得時の事業計画において想定した超過収益力が見込めなくなった当第3四半期連結会計期間末の未償却残高の全額102百万円であります。

(のれんに関する情報)

当第3四半期連結会計期間において、「音楽・映像事業」に属する株式会社ライブ・ビューイング・ジャパンの株式を追加取得したことにより、のれんが発生しております。当該のれんの発生額は139百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額(注)	四半期連結損益 計算書計上額
	イベント関連事業	音楽・映像事業	出演・CM事業	計		
営業収入						
外部顧客への 営業収入	13,035	14,001	3,513	30,550	—	30,550
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	340	106	9	456	△456	—
計	13,376	14,108	3,522	31,007	△456	30,550
セグメント利益 又は損失(△)	329	2,838	860	4,027	—	4,027

(注) 報告セグメントに帰属しない全社費用の金額は、各報告セグメントの金額に按分しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、当社グループの報告セグメントは、「アーティストマネージメント事業」、「メディアビジュアル事業」、「コンテンツ事業」、「プレイスマネージメント事業」の4区分としておりましたが、アーティストマネージメント事業の営業収入・営業利益がいずれも報告セグメントの合計額の80%超となっております。

従来 of セグメント区分では、今後も引き続きアーティストマネージメント事業の比率が高まることが想定されることなどから、セグメント区分の見直しを検討しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、相関関係の強い事業ごとにグルーピングし、イベント等の実施及びイベント実施と相関関係の強いグッズ販売・ファンクラブ事業を中核とした「イベント関連事業」、音楽・映像などの企画、制作、販売及びそこから生じる印税を中核とした「音楽・映像事業」、テレビ・映画等への出演を中核とした「出演・CM事業」の3つの報告セグメントに変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。